

産業応用フォーラム

「特殊同期機の現状と将来動向」

概要： 同期機は、永久磁石界磁による小容量機から巻線界磁による大容量機まで、さらには、2極の高速機から100極を超える低速多極機まで、容量範囲および回転速度範囲において製作実績は広大です。そのうち、長く発電の主役を務めてきた電力分野の発電機に関する調査は多数の実績があります。そこで、過去に調査され、纏まった調査報告がある同期機に関する内容を「特殊でない」として、その名称に「特殊」と付け、過去の同期機調査専門委員会の後に明らかになった知見に関し広く情報収集しました。

将来における同期機は、様々な分野への応用が期待されており、本フォーラムは、(1) 構造が特殊な同期機、(2) 同期機と誘導機の境界領域に存在する二重給電可変速機、(3) 用途が特殊な同期機について体系化し、その技術動向と応用についてまとめ、広く会員に提供するものです。

「特殊同期機の現状と将来動向調査専門委員会」（設置期間：平成23年7月～平成25年6月）のメンバーを講師とし、同期機など回転電機に関心のある技術者、研究者、学生等の皆様を広く対象として、最新の技術動向と応用を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成26年3月24日（月）13:00～17:00

会場：電気学会 会議室

東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8階

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩2分

TEL: 03-3221-7312

<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

プログラム：

- | | | | |
|----|-------------|---------------------|-------------------|
| 1. | 13:00-13:15 | 開会挨拶，総論 | 川村 光弘 |
| 2. | 13:15-14:15 | 構造が特殊な同期機 | 深見 正（金沢工業大学）ほか |
| 3. | 14:15-14:30 | 二重給交流機の原理と分類 | 高瀬 冬人（摂南大学） |
| 4. | 14:30-15:00 | 二重給電交流機の実用例 | 田村 淳二（北見工業大学）ほか |
| | | 休憩 | |
| 5. | 15:10-15:40 | 用途が特殊な同期機（その1：電力関係） | 北内 義弘（電力中央研究所） |
| 6. | 15:40-16:10 | 用途が特殊な同期機（その2：電動機） | 森田 登（電動機ブライ技術研究所） |
| 7. | 16:10-16:40 | 用途が特殊な同期機（その3：磁気歯車） | 中村 健二（東北大学） |
| 8. | 16:40-17:00 | 総合討論，閉会 | |
- 司会進行：島 和男（金沢工業大学），渡邊 剛（TMEIC）

テキスト：電気学会技術報告「特殊同期機の現状と将来動向」（発行予定）をテキストとして使用します。

なお、希望者には特別価格（価格未定）で頒布しますので、お申し込み時にその旨を記載ください。

テキストの価格は決まり次第、<http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/edit/forum.html> でご案内します。

参加費： 会員（正員） ¥5,000-（不課税） 非会員（一般） ¥7,000-（税込）（テキストは含まれません）

会員（准・学生員） ¥2,000-（不課税） 非会員（学生） ¥3,000-（税込）（テキストは含まれません）

申込方法： 電気学会ホームページ：<http://www.iee.or.jp/forum.html> からお申込みください。

申込期限： 3月14日（金）なお定員（60名）に達し次第、締め切らせていただきます。

問い合わせ先： 金沢工業大学 工学部 深見 正, e-mail: [fukami \(at\) neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:fukami@neptune.kanazawa-it.ac.jp)

【注 (at)を@に置き換えて発信ください。】

参加費支払い方法： 参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催： 電気学会産業応用部門 回転機技術委員会（山崎 克巳 委員長）